

# 大塚倉庫が進める コネクティッド・ロジスティクス

大塚倉庫株式会社  
ロジスティクス本部  
阿部 直弘

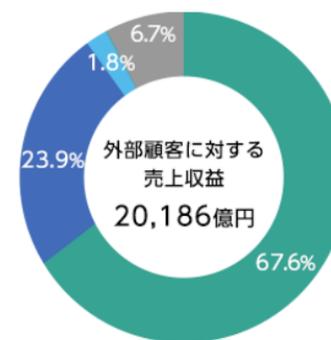
# 大塚グループについて

CONFIDENTIAL



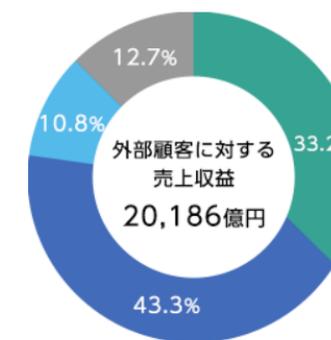
2023年度 売上収益 **20,186** 億円  
2023年度 事業利益 **3,126** 億円

事業セグメント別売上収益



● 医療関連事業	13,644億円
● ニュートラシューティカルズ関連事業	4,833億円
● 消費者関連事業	371億円
● その他の事業	1,338億円

市場別売上収益 (売先別情報)



● 日本	6,709億円
● 北米	8,734億円
● 欧州	2,187億円
● その他	2,557億円

**従業員数**  
約**34,388**名  
国内 13,362名  
海外 21,026名

**会社数**  
**168**社  
国内 34社  
海外 134社

**研究所**  
**34**拠点  
国内 19拠点  
海外 15拠点

**工場**  
**97**拠点  
国内 42拠点  
海外 55拠点

(2023年12月末現在)

※範囲：大塚HDおよび連結子会社

# 大塚倉庫について

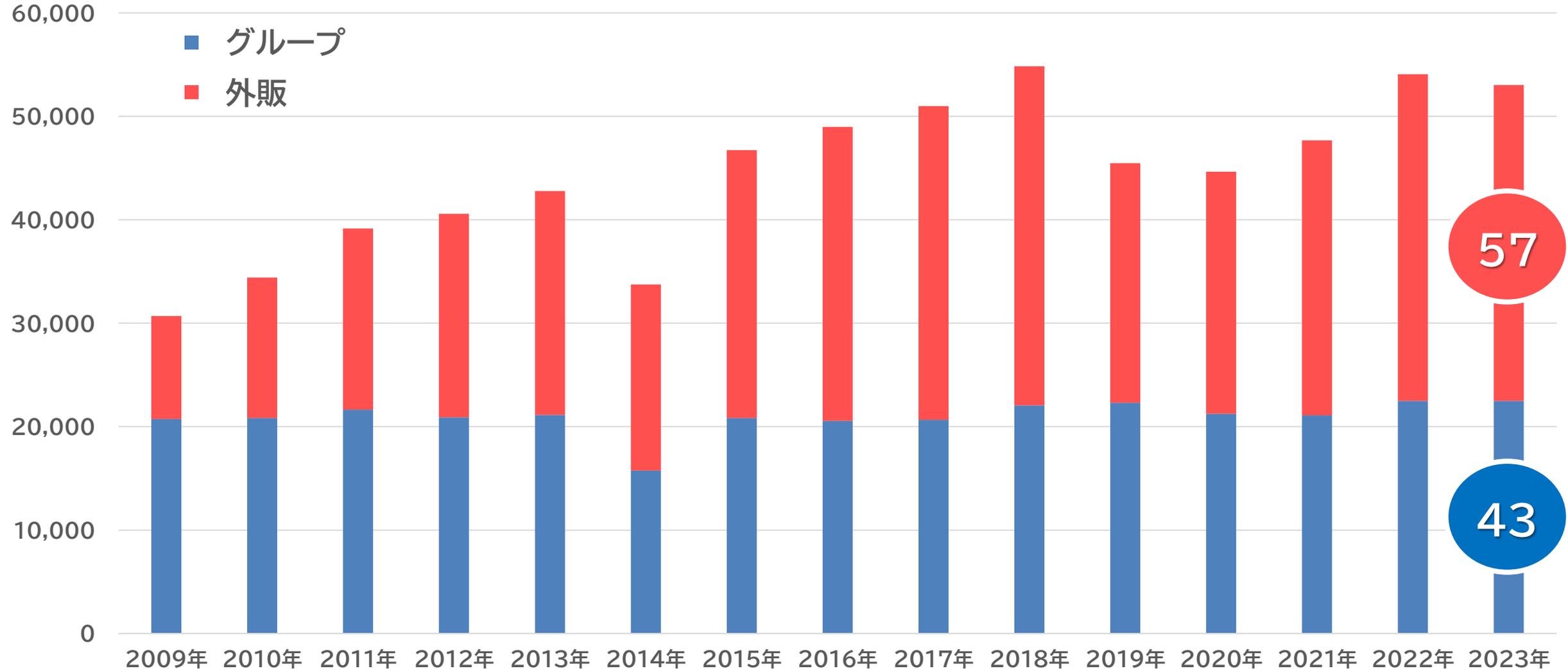
CONFIDENTIAL



大塚グループの企業理念をもとに、  
ロジスティクス(物流)領域で世界  
の人々の健康に貢献していく

# 大塚倉庫 売上高：516億円 外販：内販 = 57：43

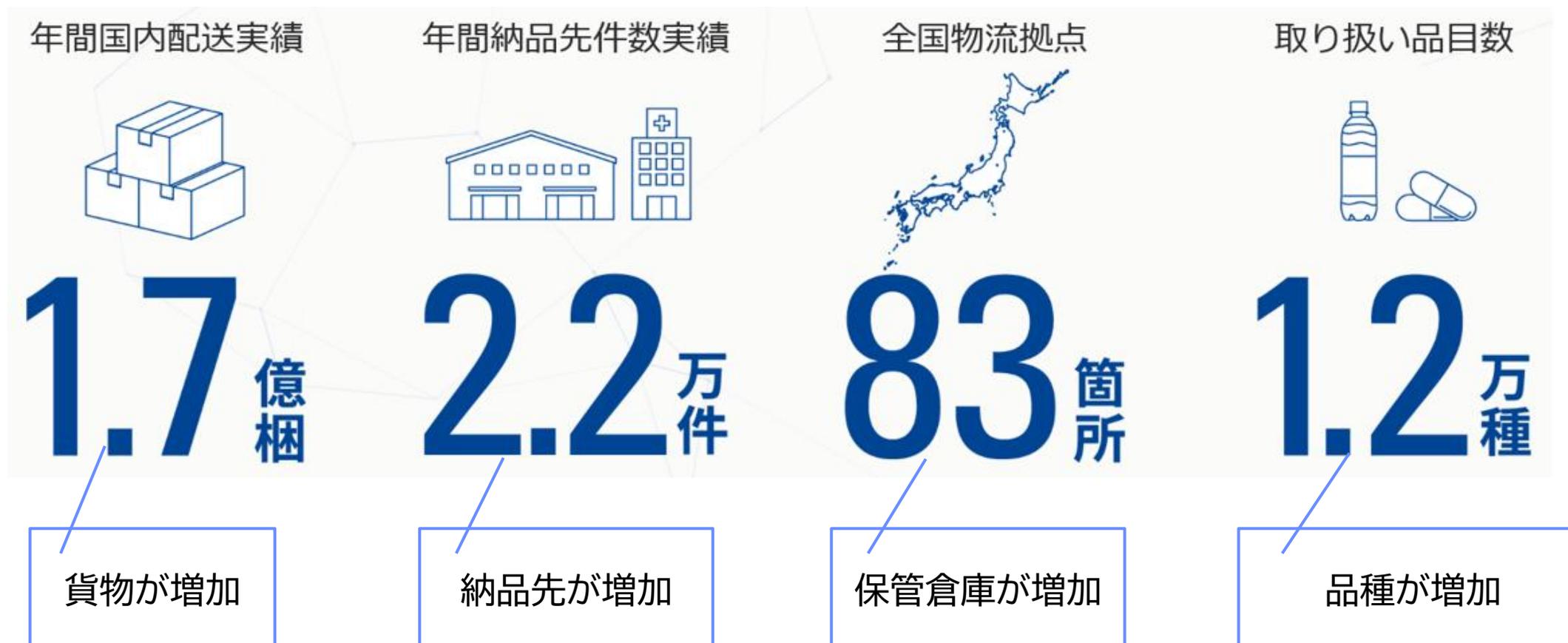
(単位:億円)



2014年度は9か月決算  
2019年度は会計基準変更

# 取り扱い貨物の増加が倉庫・納品先・品種が倍増

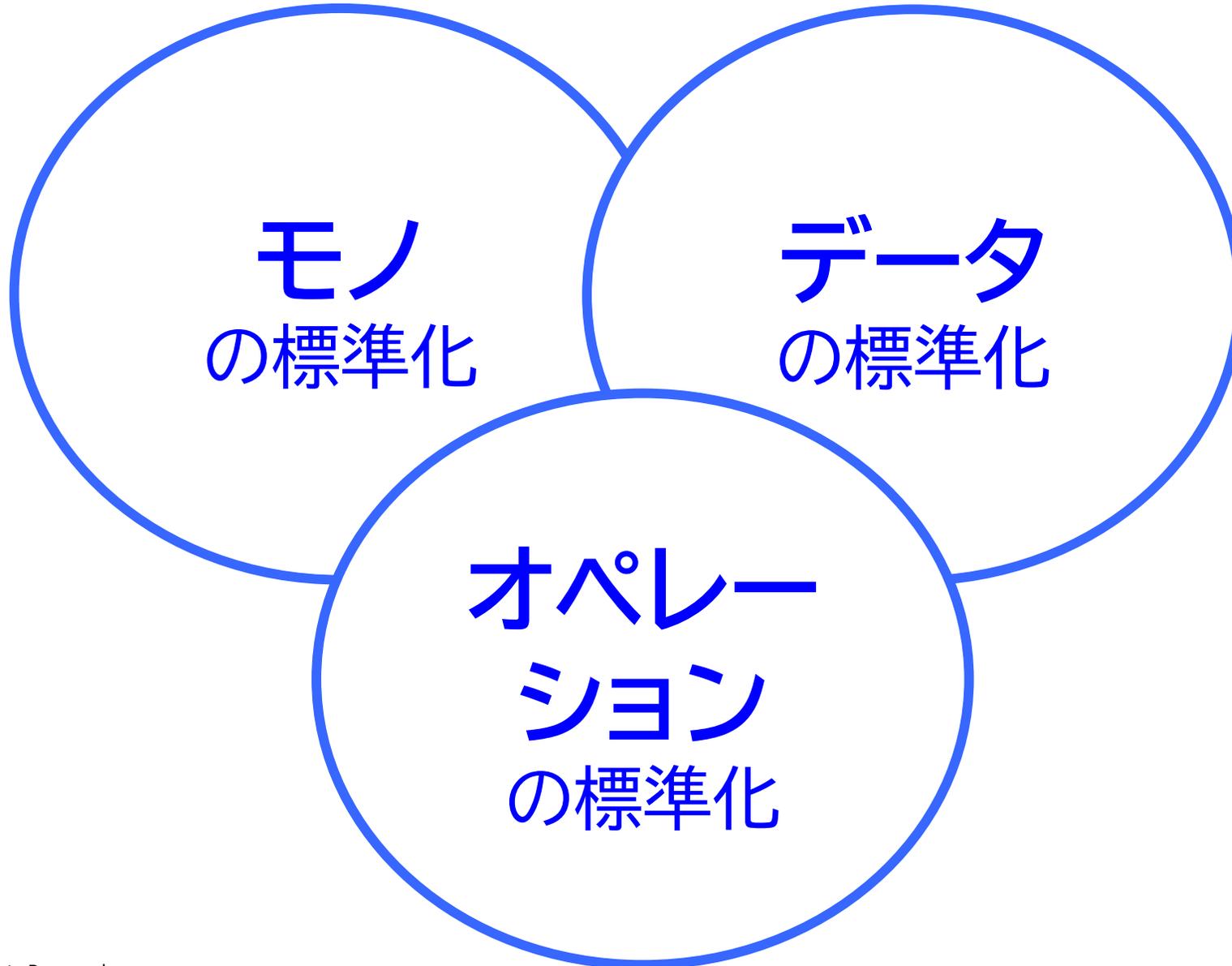
CONFIDENTIAL



## 増加した物流をどう捌くかが課題

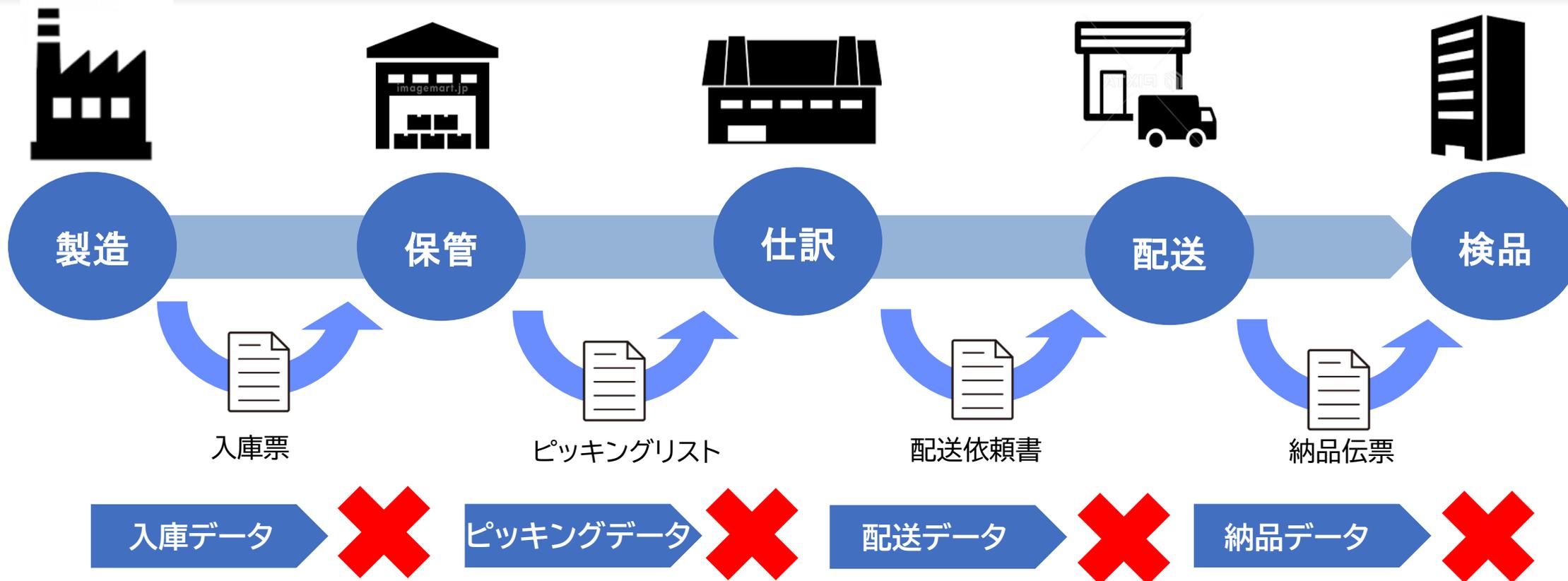
# <大塚倉庫の考え方>モノ・データ・オペレーションの標準化

CONFIDENTIAL



# 物流現場は紙だらけ

CONFIDENTIAL



各データで共通項目を保持しているが、様式や形式が違うために繋がっていない

バラバラな運用がデータ連携の足かせになっている

モノの標準化  
で単位が揃う

単位が揃うと  
データの標準化  
が出来る

デジタル化が進み  
オペレーションの標準化  
を促進

# バラバラな伝票が物流現場を苦しめていた

メーカーが指定する専用伝票の数  
25社⇒25種類





# データ連携で全てが繋がる

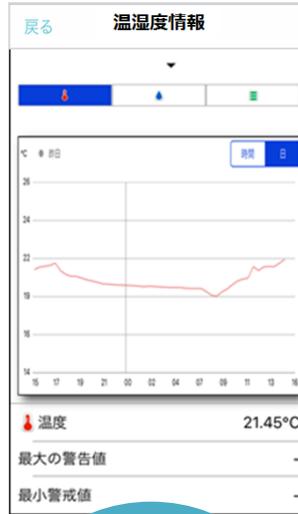
CONFIDENTIAL



電子伝票



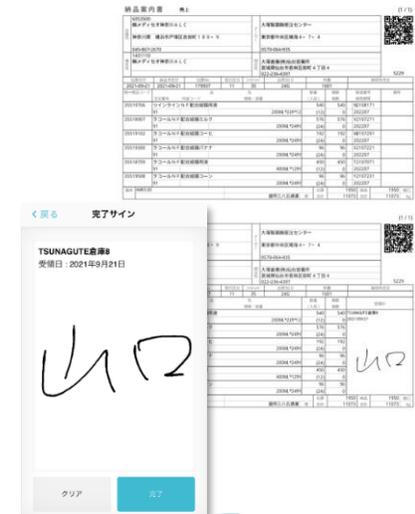
予約情報



温湿度情報



配送状況



電子受領



メーカー



運送事業者

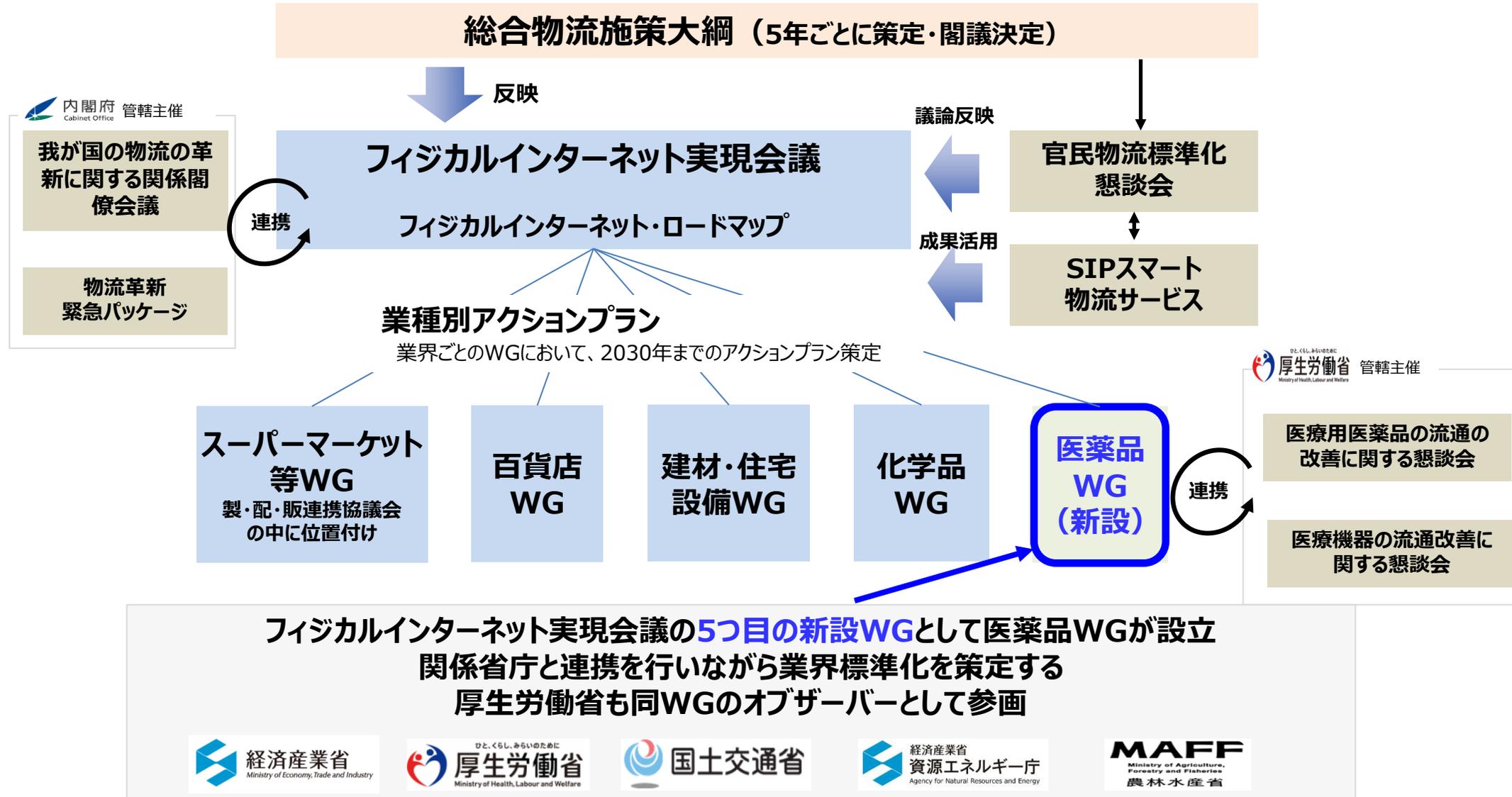


卸売



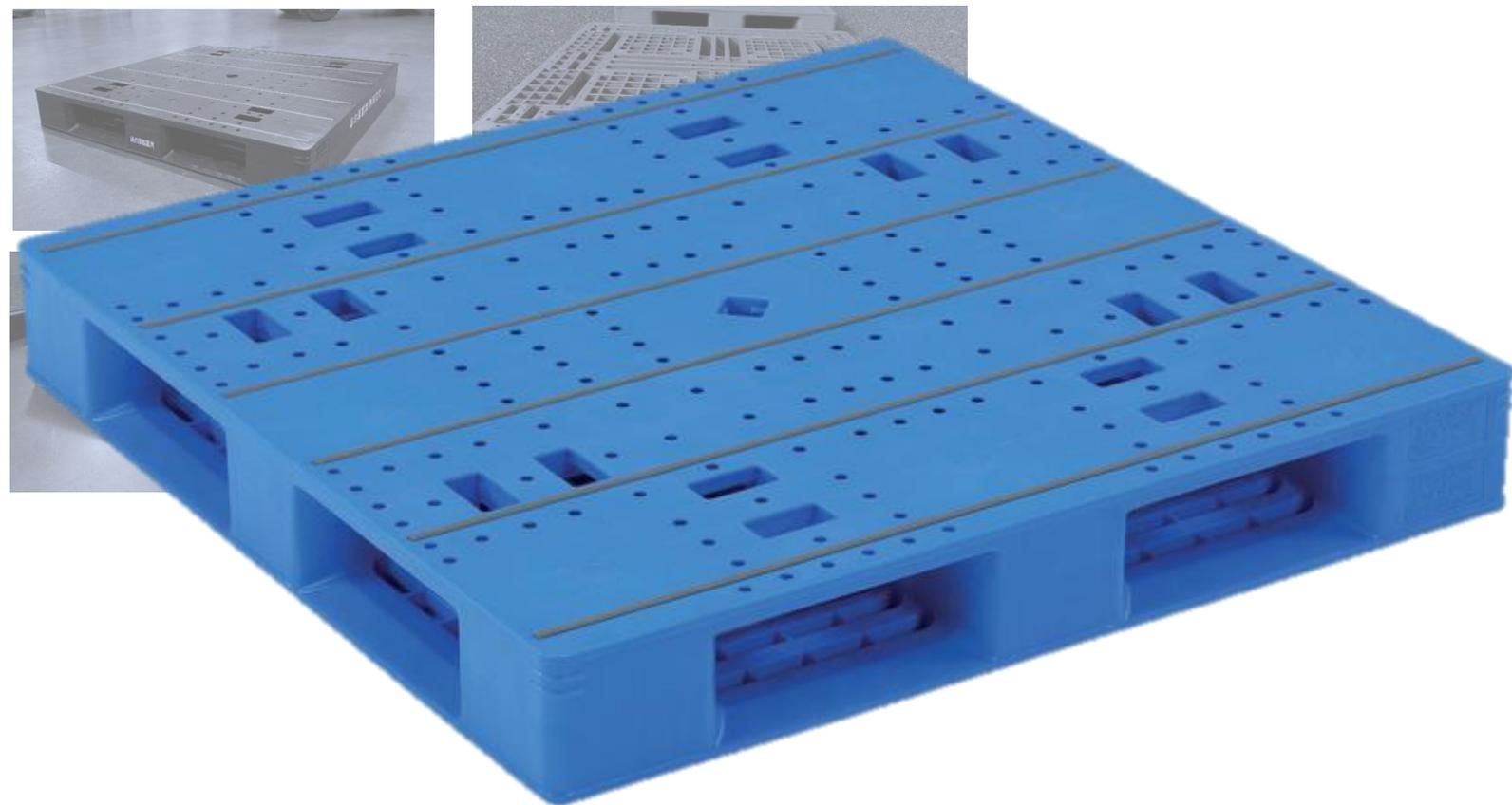
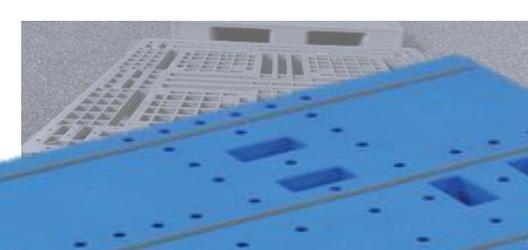
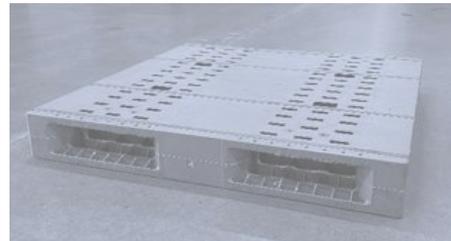
# 【次なる打ち手】医薬品業界の物流標準化

CONFIDENTIAL



# 医薬品パレットの標準化とデータ連携

CONFIDENTIAL



ご清聴、ありがとうございました。